

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 ヒーハイト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6433 URL <http://www.hephaist.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 浩太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 佐々木 宏行 (TEL) 049-273-7000
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	894	△29.9	△88	—	△87	—	△61	—
2020年3月期第2四半期	1,276	△8.3	49	△60.5	45	△62.7	31	△61.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △64百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 29百万円(△61.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△9.94	—
2020年3月期第2四半期	4.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,047	2,897	71.6
2020年3月期	4,253	2,961	69.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,897百万円 2020年3月期 2,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,837	△20.8	△86	—	△89	—	△94	—
								△15.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	6,316,700株	2020年3月期	6,316,700株
2021年3月期2Q	153,984株	2020年3月期	153,984株
2021年3月期2Q	6,162,716株	2020年3月期2Q	6,312,716株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気の悪化が続いており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、経営方針を「全ての職種、職場に共通する品質は、“約束を守ること”とし、生産効率や品質の向上につながる改善を図ってゆく事に全社を挙げて取り組んでおります。

また、当社グループでは新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、取引先、従業員の健康と安全を最優先に、感染防止に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、売上高が減少し、894,630千円（前年同四半期比29.9%減）となりました。

利益面につきましては、売上高減少の影響により、営業損失88,343千円（前年同四半期は、営業利益49,052千円）、経常損失87,671千円（前年同四半期は、経常利益45,721千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失61,248千円（前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純利益31,389千円）となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、米中貿易摩擦による中国市場の停滞及び新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全般的な産業用機械の設備投資低迷により受注が落ち込み、当第2四半期連結累計期間の売上高は522,444千円と前年同四半期と比べ149,668千円の減少（前年同四半期比22.3%減）となりました。

精密部品加工につきましては、世界的なレーススケジュールの調整によるレース用部品の生産停止期間もあり、売上高は251,578千円と前年同四半期と比べ215,417千円の減少（前年同四半期比46.1%減）となりました。

ユニット製品につきましては、海外市場向けの売上はなく、国内市場のリピート需要が主となり、売上高は120,607千円と前年同四半期と比べ16,675千円の減少（前年同四半期比12.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における総資産は4,047,483千円となり、前連結会計年度末と比べて206,272千円の減少となりました。主な要因は、有価証券49,090千円の増加に対し、現金及び預金235,202千円、売上債権44,204千円の減少によるものであります。

負債は、1,149,651千円となり、前連結会計年度末と比べて142,201千円の減少となりました。主な要因は、仕入債務39,759千円、営業外電子記録債務31,625千円、社債11,500千円及び借入金71,396千円の減少によるものであります。

純資産は、2,897,832千円となり、前連結会計年度末と比べて64,071千円の減少となりました。主な要因は、利益剰余金61,248千円の減少によるものであります。その結果、当第2四半期連結累計期間末における自己資本比率は71.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、584,503千円となり、前連結会計年度末と比べ235,202千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に減価償却費61,161千円及び売上債権の減少額43,775千円による資金の増加に対し、税金等調整前四半期純損失86,771千円、仕入債務の減少額38,447千円及び法人税等の支払額4,275千円による資金の減少により、使用した資金は1,165千円（前連結同四半期は31,616千円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有価証券の取得による支出50,000千円及び有形固定資産の取得による支出55,030千円による資金の減少により、使用した資金は134,423千円（前連結同四半期は158,349千円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の返済による支出71,396千円及び社債の償還による支出11,500千円による資金の減少により、使用した資金は97,916千円（前連結同四半期は120,256千円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年8月11日付で業績予想の修正を行っております。なお、業績予想は、発表日現在における入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	819,706	584,503
受取手形及び売掛金	251,621	226,872
電子記録債権	369,702	350,247
有価証券	—	49,090
商品及び製品	164,369	162,483
仕掛品	423,114	425,586
原材料及び貯蔵品	190,168	191,883
未収還付法人税等	22,000	17,611
その他	36,428	28,903
流動資産合計	2,277,110	2,037,181
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	576,936	559,059
機械装置及び運搬具（純額）	157,527	147,524
工具、器具及び備品（純額）	23,801	33,531
土地	908,966	908,966
リース資産（純額）	20,340	45,813
建設仮勘定	10,769	6,306
有形固定資産合計	1,698,341	1,701,201
無形固定資産	24,628	20,617
投資その他の資産		
保険積立金	148,872	176,684
繰延税金資産	99,379	109,362
その他	5,422	2,437
投資その他の資産合計	253,674	288,483
固定資産合計	1,976,645	2,010,302
資産合計	4,253,756	4,047,483

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	197,485	151,279
電子記録債務	179,005	185,452
短期借入金	30,000	30,000
1年内償還予定の社債	23,000	23,000
1年内返済予定の長期借入金	137,782	128,502
リース債務	13,207	26,847
未払法人税等	799	777
賞与引当金	31,971	30,322
営業外支払手形	2,496	—
営業外電子記録債務	38,069	6,444
その他	80,403	60,340
流動負債合計	734,221	642,966
固定負債		
社債	107,000	95,500
長期借入金	225,020	162,904
リース債務	13,359	25,474
役員退職慰労引当金	126,577	132,562
退職給付に係る負債	82,635	86,484
その他	3,039	3,759
固定負債合計	557,631	506,685
負債合計	1,291,852	1,149,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	732,552	732,552
資本剰余金	679,512	679,512
利益剰余金	1,589,494	1,528,245
自己株式	△43,916	△43,916
株主資本合計	2,957,642	2,896,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	556	△275
為替換算調整勘定	3,704	1,714
その他の包括利益累計額合計	4,260	1,438
純資産合計	2,961,903	2,897,832
負債純資産合計	4,253,756	4,047,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	1,276,391	894,630
売上原価	979,944	750,273
売上総利益	296,447	144,356
販売費及び一般管理費	247,395	232,699
営業利益又は営業損失(△)	49,052	△88,343
営業外収益		
受取利息	162	101
有価証券利息	554	800
受取手数料	666	1,117
補助金収入	200	200
廃材売却収入	255	140
為替差益	—	459
その他	84	848
営業外収益合計	1,923	3,667
営業外費用		
支払利息	1,429	1,641
有価証券評価損	253	910
為替差損	3,571	—
その他	—	443
営業外費用合計	5,254	2,994
経常利益又は経常損失(△)	45,721	△87,671
特別利益		
固定資産売却益	14	200
投資有価証券売却益	—	1,223
特別利益合計	14	1,423
特別損失		
固定資産除却損	534	523
特別損失合計	534	523
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	45,201	△86,771
法人税等	13,811	△25,522
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,389	△61,248
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	31,389	△61,248

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,389	△61,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△123	△832
為替換算調整勘定	△2,050	△1,989
その他の包括利益合計	△2,173	△2,822
四半期包括利益	29,215	△64,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,215	△64,071

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	45,201	△86,771
減価償却費	77,587	61,161
株式報酬費用	7,528	3,764
受取利息及び受取配当金	△735	△914
支払利息	1,429	1,641
有価証券評価損益(△は益)	253	910
有形固定資産売却損益(△は益)	△14	△200
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,223
有形固定資産除却損	534	—
無形固定資産除却損	—	523
売上債権の増減額(△は増加)	114,751	43,775
たな卸資産の増減額(△は増加)	26,290	△3,558
仕入債務の増減額(△は減少)	△244,665	△38,447
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,655	△1,608
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,751	5,985
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,198	3,849
その他の流動資産の増減額(△は増加)	4,933	8,086
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△52,925	5,162
その他	1,476	1,686
小計	2,249	3,822
利息及び配当金の受取額	732	914
利息の支払額	△1,496	△1,627
法人税等の支払額	△33,101	△4,275
営業活動によるキャッシュ・フロー	△31,616	△1,165
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△50,000	△50,000
有形固定資産の取得による支出	△75,795	△55,030
有形固定資産の売却による収入	80	220
無形固定資産の取得による支出	△5,860	△4,723
投資有価証券の売却による収入	—	2,925
その他	△26,774	△27,814
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158,349	△134,423
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△81,251	△71,396
社債の償還による支出	—	△11,500
リース債務の返済による支出	△13,802	△14,974
配当金の支払額	△25,202	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120,256	△97,916
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,679	△1,697
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△311,901	△235,202
現金及び現金同等物の期首残高	951,565	819,706
現金及び現金同等物の四半期末残高	639,663	584,503

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響による会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染拡大の影響による会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。